

セミナー報告

令和4年度 男女共同参画セミナー③

「笑っている父親になろう！」

令和5年1月21日(土) 10時～12時

講師 **ばば** **よしゆき**
馬場 義之さん (NPO 法人7アザーリング・ジャパン九州理事)



【講師プロフィール】

1970年生まれ、2男1女の父親。

2012年に会社勤めをしながら、パパサークル「パパラフ」を立ち上げる。毎月パパ同士で子育ての悩みや相談ができる座談会を開催。現在は、小学校PTA副会長、佐賀県男女共同参画推進審議会委員に参画。

座右の銘は、「子ども以上に私が笑う」

《セミナー概要》

「笑っている父親ってどんなイメージですか？自分自身は父親の笑っている顔を見たことがなく、父親は笑わないものだと思っていた。実は父親の事を嫌いだった。そんな父親が反面教師となって今の自分があります。」と、自身の家事育児と活動のきっかけから語り始められた。

ジェンダー平等を語る時、必ずアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)があり、特に九州は「～すべき」という意識が強くある。ジェンダー平等はLGBTQだけの問題でしょうか？ジェンダー平等とは男性と女性が等しく権利と機会を享受し、責任を分かち合い、意思決定にも対等に参画できる状態です。

ワークライフ・バランスは一人ひとりが主体的に生きていく理論と思考、実践。ワークとライフの天秤ではなく寄せ鍋へ。男性のWLBは、働くために働く調整をしている。男性・父親が人生の主人公になっていない。

男性の座談会を開催すると、ほんとにお父さんは真剣に悩んでいる。今まで男性の子育ては、仕事優先の社会の中で育児をしない事が合理化され、遠ざけられていた。父親としての当たり前の事が無視されてきた。パパ友を作っているんな話をしよう。相談や弱みを語れる関係性をつくり、父親をすることが大事。意識ではなく経験することによって脳が変化を生じる。

「パートナーシップを理解し、家事育児分担ではなく、一緒にできる家事育児を目指しましょう。お互い無理なく思いやり寄り添い合い、質より量を目指しましょう。父親が笑うだけで人生が変わります。価値観が変わります。人生が楽しくなります。」と、子育て世代の男性だけではなく、異世代の老若男女どなたにでも受けとめやすい内容構成で、現代の父親の家庭生活の悩みと課題について、統計データや現状の話を交えながら、自身の経験や本の紹介など身近な話を、ゆったりとした口調でわかりやすくお話された。

《受講生の感想》 ※抜粋

- ・お話がとても分かりやすく、笑顔で優しい語り口がとっても素敵です。内容が具体的で説得力があり、今後今一度セミナーを振り返りしっかり考えて「笑顔」「人を幸せにする」ために行動・実践していきたいと思います。「長男の通信簿」最高でした。感動です。
- ・子育ても終わり、孫も成人して、夫は育児にもよく手伝ってくれ子供ともよく遊んでくれて本当に助かっていました。でも、私の父親はとてもきびしい人で本当にあまり笑った顔を見た事はありませんでした。
- ・仕事仕事で家族に触れ合う時間がなかった。妻・子供にすまなかったと反省～。
- ・先生の話がとても面白く感動的だった。内容がすばらしい。
- ・馬場さんの子どもの為、自分のために頑張っている姿が目には浮かびます。有難うございました。益々ご活躍ください。
- ・父親にもっと子育てに参加してもらいたいと思います。色んな角度から自分を変えていってもらいたいと思います。子供の成長する時を見ていけることがとてもすてきて気がつかないともったいないと思います。それが子供にとって豊かな心を育てると思います。
- ・とても貴重なお話を聞くことができました。父親の立場からのいろいろなお話はなかなか聞くチャンスがなかったので、良かったです。この活動が広がって、もっと社会が変われば女性も生きやすくなることでしょう。
- ・毎日優しくきげん良く接することが、自分も家族も幸せにできることだと気付いた。
- ・男性からの育児の考え、よくわかりました。スライドとプリントの説明があり、よかったと思います。
- ・近所にいる息子の家族のことを思いながらきました。(子どもの年齢が3人でほとんど同じ位でしたので)いいお父さんをしてあると心から思いました。亡き夫と生き方が通じる場所がありました。母親ですが、子育てを楽しみながらやってきましたので。
- ・講師の先生が、まず幸せいっぱい元気いっぱい自信をもった生き方で、話を聞いていてこちらまで刺激をいただきました。奥さん・子供さん幸せですね。



子育ては期間限定のプロジェクト
「乳離れ 次に来るのは父離れ」

パパの子育ては、子どもにもママにも社会にもいいことがいっぱい！